

⑥8 海岸高潮対策事業 野田地区海岸

受賞機関 岩手県 県北広域振興局 土木部

キーワード 防潮堤と水門の並行作業、応力遮断壁の設置、工期短縮対策

全建賞審査委員会の評価ポイント

村中心部を防護するための防潮堤及び水門を新設する事業。記録的な台風による波浪や河川の出水が生じるなど厳しい現場条件であったが、応力遮断壁の設置によるプレロード期間の短縮や水門施工用の作業構台の設置により切替河道部の防潮堤と水門の並行作業による工期短縮の実現等により、復興事業期間内での工事完成を成し遂げたことが評価された。

1. はじめに

野田地区海岸は、岩手県沿岸北部の野田村に位置し、周辺では漁業が盛んに営まれている。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波では、野田湾でT.P.+21.4m（痕跡高）の津波を記録し、野田村において、死者37名、村内の約3分の1にあたる515棟の住宅被害等、壊滅的な被害が発生した。

このような被害を踏まえ、岩手県では、野田湾の海岸堤防高をT.P.+14.0m（L1津波）に設定し、平成23年度より防潮堤整備に着手したものである。



完成した野田地区海岸

2. 事業の概要

野田地区海岸は、野田村中心部を防護するため、延長357mの防潮堤及び延長97.7mの水門（3径間）を整備（新設）を行った。

整備にあたっては、平成28年の台風第10号や令和元年の台風第19号の記録的な台風による波浪や河川の出水により、工期への影響が生じるなか、応力遮断壁の設置によるプレロード期間の短縮や水門施工用の作業構台の設置による防潮堤と水門の並行作業等の工期短縮対策を講じ、復興事業期間内（令和2年度）に工事を完成することができた。

3. 事業の成果

野田地区海岸の完成により、背後地で実施された区画整理事業や災害公営住宅等のまちづくりと相まって、野田村の津波に対する安全度の向上に寄与している。

また、令和4年1月16日にトンガ諸島付近の海底火山噴火の影響により発表された津波警報において、運用後初めて水門の閉鎖を行った（点検等除く）。



津波防災出前授業の様子

4. おわりに

防潮堤等のハード整備は完了したが、東日本大震災津波から11年が経過し、震災を経験していない子供たちが年々増えている。

このため、小中高生を中心に野田地区海岸等の震災以降整備した施設をフィールドとして、津波防災出前授業を開催しており、東日本大震災津波の教訓を忘れることなく、未来を担う子供たちに継承していく取組を今後も継続していきたい。

賛助会員 飛鳥建設(株)、(株)ピーエス三菱、いであ(株)